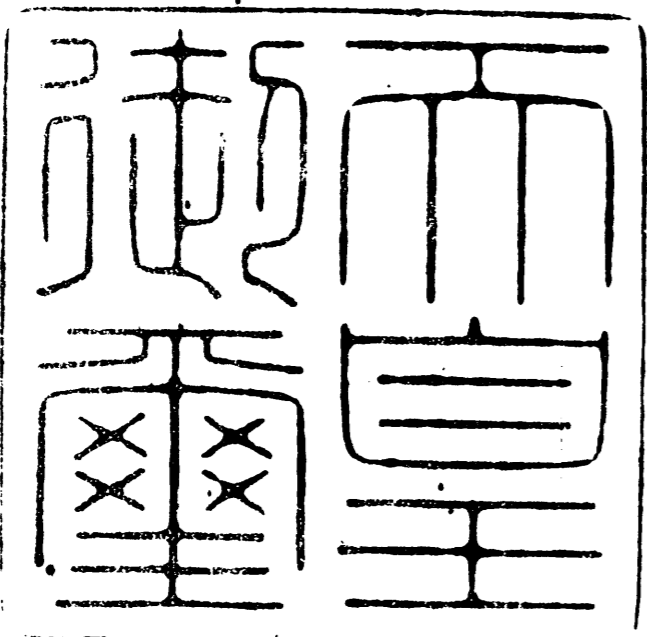


勅令第四百四十號

朕金融統制團體令ヲ裁可シ茲ニ之
ヲ公布セシム

裕仁



昭和十七年四月十七日

日

月

内閣總理大臣
 東條 英機
 農務大臣
 林 銑太郎
 大藏大臣
 賀屋 興宣
 大臣兼
 井里 碩哉

勅令第四十四號
金融統制團體令

第一章 總則

第一條 國家總動員法第十八條ノ規定ニ基ク金融事業（有價證券

ニ關スル事業ヲ含ム以下同ジ）ノ統制ヲ目的トスル團體ニ付テ

ハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 本令ニ依ル團體ハ全國金融統制會、業態別統制會、統制

組合及地方金融協議會トス

全國金融統制會ハ全國金融統制會ナル名稱ヲ用フベシ

業態別統制會、統制組合又ハ地方金融協議會ハ其ノ名稱中ニ各

統制會、統制組合又ハ金融協議會ナル文字ヲ用フベシ但シ主務

大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第...
第...

第二章 全國金融統制會

第三條 全國金融統制會ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲金融事業ノ機能ノ綜合的發揮ヲ圖ルニ必要ナル指導統制ヲ行ヒ且金融ニ關スル國策ノ立案及遂行ニ協力スルコトヲ目的トス

第四條 全國金融統制會ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ニ掲グル事業ヲ行フ

- 一 金融ニ關スル政府ノ計畫ニ對スル參書
- 二 金融事業ヲ營ム者ノ行フ資金ノ吸收及運用ニ關スル指導統制
- 三 金融事業ノ整備ノ促進
- 四 金融事業ノ機能ノ増進

五 金融事業ト産業トノ關係ノ緊密化ノ促進

六 金融事業ニ關スル調査及研究

七 前各號ニ掲グルモノノ外全國金融統制會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業

全國金融統制會ハ前項ノ事業ノ外命令ノ定ムル所ニ依リ業態別統制會ノ會員ニ非ザル統制組合ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノ及地方金融協議會ノ事業ノ指導統制ヲ行フ

第五條 全國金融統制會ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者トス

- 一 日本銀行
- 二 業態別統制會
- 三 前二號ニ掲グル者ノ外金融事業ヲ營ム者ニシテ主務大臣ノ

指定スルモノ

第六條 主務大臣全國金融統制會ヲ設立セシメントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ規定ニ依リ會員タル資格ヲ有スル者ニ對シ全國金融統制會ノ設立ヲ命ズベシ

前項ノ規定ニ依ル全國金融統制會ノ設立ノ命令アリタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ創立總會ヲ開キ之ニ諮リテ定款其ノ他全國金融統制會ノ設立ニ必要ナル事項ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第七條 全國金融統制會ノ定款ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ
一 目的
二 名稱
三 事務所ノ所在地

四 會員ニ關スル規定

五 事業及其ノ執行ニ關スル規定

六 役員ニ關スル規定

七 會議ニ關スル規定

八 經理ニ關スル規定

第八條 全國金融統制會ハ第六條第二項ノ認可アリタル時又ハ國家總動員法第十八條第三項ノ規定ニ依リ定款ノ作成アリタル時成立ス

前項ノ場合ニ於テハ主務大臣ハ全國金融統制會成立ノ旨及定款ヲ告示スベシ

第九條 全國金融統制會成立シタルトキハ其ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ總テ全國金融統制會ノ會員トス

印
附

附
録

第十條 全國金融統制會ニハ會長一人並ニ理事、監事及評議員各若干人ヲ置クベシ

全國金融統制會ニハ前項ノ役員ノ外定款ノ定ムル所ニ依リ副會長二人以内又ハ理事長一人ヲ置クコトヲ得

第十一條 會長ハ全國金融統制會ヲ代表シ金融事業ノ指導統制其ノ他ノ會務ヲ總理ス

副會長ハ會長ヲ輔佐シ豫メ會長ノ定ムル順位ニ依リ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ會長缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

理事長ハ會長及副會長ヲ輔佐シ會務ヲ掌理シ會長及副會長共ニ事故アルトキハ會長ノ職務ヲ代理シ會長及副會長共ニ缺員ノトキハ會長ノ職務ヲ行フ

理事ハ會長、副會長及理事長ヲ輔佐シ會務ヲ掌理シ豫メ會長ノ定ムル順位ニ依リ會長、副會長及理事長共ニ事故アルトキハ會長ノ職務ヲ代理シ會長、副會長及理事長共ニ缺員ノトキハ會長ノ職務ヲ行フ

監事ハ全國金融統制會ノ經理ノ狀況ヲ監査ス

評議員ハ會長ノ諮問ニ對シ答申シ又ハ會長ニ對シ意見ヲ具申ス

第十五條 會長ハ日本銀行總裁ヲ以テ之ニ充ツ

副會長、理事長、理事及監事ハ金融事業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ主務大臣之ヲ命ズ

評議員ハ金融事業又ハ産業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ主務大臣之ヲ命ズ

主務大臣第二項ノ規定ニ依リ副會長、理事長又ハ理事ヲ任命シ

タルトキハ其ノ旨ヲ告示スベシ

第十三條 副會長、理事長及理事ノ任期ハ三年、監事及評議員ノ任期ハ二年トス

第十四條 副會長、理事長及理事ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ他ノ職務又ハ商業ニ従事スルコトヲ得ズ但シ日本銀行ノ職員タルコトヲ妨ゲズ

第十五條 全國金融統制會ハ金融事業ニ關スル事項ニ付主務大臣ニ建議スルコトヲ得

全國金融統制會ハ主務大臣ノ諮問ニ對シ答申スベシ

第十六條 全國金融統制會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員、業態別統制會ノ會員、業態別統制會ノ會員タル統制組合ノ組合員、

第四條第二項ノ命令ヲ以テ定ムル統制組合又ハ地方金融協議會ニ對シ金融事業ニ關スル事項ノ調査ヲ爲ス爲必要ナル資料ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ資料ノ提出ヲ求メラレタル者ハ遲滞ナク之ヲ提出スベシ

第十七條 全國金融統制會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ賦課金ヲ課スルコトヲ得

第十八條 全國金融統制會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ定款又ハ統制規程ニ違反シタル會員ニ對シ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第十九條 賦課金又ハ過怠金ヲ滞納スル者アル場合ニ於テ全國金融統制會ノ請求アルトキハ市町村ハ市町村税ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ全國金融統制會ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四ヲ市

町村ニ交付スベシ

前項中町村トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ之ニ準ズベキモノトス

第一項ノ規定ニ依ル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準ズベキモノノ徵收金ニ次ギ其ノ時効ニ付テハ市町村税ノ例ニ依ル

第二十條 全國金融統制會ハ其ノ會員ノ事業ニ關スル統制規程ヲ設定スベシ

第二十一條 定款ノ變更竝ニ統制規程ノ設定及變更ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ
主務大臣前項ノ認可ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ告示スベシ

第二十二條 全國金融統制會ノ會員ハ全國金融統制會ノ統制規程ニ依ル

ベシ

第二十三條 全國金融統制會ハ主務大臣ノ命令アリタルトキ又ハ其ノ事業ノ遂行上必要アリト認ムル場合ニ於テ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ會員、業務別統制會ノ會員又ハ業務別統制會ノ會員タル統制組合ノ組合員ノ業務又ハ財産ノ狀況ヲ検査スルコトヲ得

全國金融統制會ノ會員、業務別統制會ノ會員又ハ業務別統制會ノ會員タル統制組合ノ組合員ハ前項ノ規定ニ依ル検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避スルコトヲ得ス

全國金融統制會ハ第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ行フ役員又ハ使用人ヲシテ、其ノ身分ヲ示ス證券ヲ携帯セシムベシ

100
100

附
録

第二十四條 全國金融統制會ハ主務大臣ノ命令アリタルトキ又ハ其ノ事業ノ遂行上必要アリト認ムル場合ニ於テ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ業能別統制會ニ對シ其ノ會員若ハ其ノ職員タル統制組合ノ組合員ノ業務若ハ財産ノ狀況ヲ檢査シ又ハ其ノ會員タル統制組合ヲシテ當該統制組合ノ組合員ノ業務若ハ財産ノ狀況ヲ檢査セシメ其ノ結果ヲ報告スベキコトヲ命ズルコトヲ得

前條第二項及第三項ノ規定ハ業能別統制會又ハ統制組合ガ前項ノ規定ニ依リ檢査ヲ行フ場合ニ之ヲ準用ス

第二十五條 全國金融統制會ハ主務大臣ノ命令アリタルトキ又ハ第四條第二項ノ命令ヲ以テ定ムル統制組合ノ事業ヲ指導統制スル爲必要アリト認ムル場合ニ於テ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルト

キハ當該統制組合ノ業務若ハ財産ノ狀況ヲ檢査シ又ハ當該統制組合ニ對シ其ノ組合員ノ業務若ハ財産ノ狀況ヲ檢査シ其ノ結果ヲ報告スベキコトヲ命ズルコトヲ得

第二十三條第二項及第三項ノ規定ハ全國金融統制會又ハ統制組合ガ前項ノ規定ニ依リ檢査ヲ行フ場合ニ之ヲ準用ス

第二十六條 全國金融統制會ハ主務大臣ノ命令アリタルトキ又ハ地方金融協進會ノ事業ヲ指導統制スル爲必要アリト認ムル場合ニ於テ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ地方金融協進會ノ業務又ハ財産ノ狀況ヲ檢査スルコトヲ得

第二十三條第二項及第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十七條 通常總會ハ毎年一回會員ヲ招集ス

印
閣

局長必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ臨時總會ヲ招集スルコトヲ得

第二十八條 左ニ掲グル事項ハ總會ニ諮リ局長之ヲ決ス

一 定款ノ變更

二 收支豫算

三 賦課金ノ賦課徴收方法

第二十九條 會長ハ毎年總會ニ全國金融統計會ノ事業ノ狀況ヲ報告シ監督ヲシテ經營ノ狀況ヲ報告セシムベシ

第三十條 主務大臣必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十

一條ノ規定ニ依リ全國金融統計會ヨリ其ノ事業ニ關シ報告ヲ徴

シ又ハ當該官吏ヲシテ其ノ事務所ニ臨檢シ業務若ハ經營ノ狀況ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テ

ハ其ノ身分ヲ示ス標識ヲ携帯セシムベシ

第三十一條 主務大臣ハ全國金融統計會ニ對シ金融事業ニ關スル

事項ノ調査ヲ命ズルコトヲ得

第三十二條 主務大臣令金融事業ノ統制上必要アリト認ムルトキハ

全國金融統計會ニ對シ必要ナル事業ノ施行ヲ命ジ又ハ定款ノ變更

更其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第三十三條 主務大臣ハ全國金融統計會ニ對シ業務及ハ經理ニ關

印
閣

シ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

主務大臣必要アリト認ムルトキハ理事ヲシテ監督ノ結果ヲ報告

セシムルコトヲ得

第三十四條 主務大臣ハ副會長、理事長、理事又ハ評議員ノ行爲

方法令又ハ法令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキ、公益ヲ害

シタルトキ其ノ他全國金融總帥會ノ理事ノ監督上副會長、理事

長、理事又ハ評議員ヲ不適當ナリト認ムルトキハ之ヲ解任スル

コトヲ得

主務大臣ハ理事ノ行爲ガ法令若ハ法令ニ基キテ爲ス處分ニ違反

シタルトキ又ハ公益ヲ害シタルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得

主務大臣第一項ノ規定ニ依リ副會長、理事長又ハ理事ヲ解任シ

タルトキハ其ノ旨ヲ告示スベシ

第三十五條 全國金融總帥會ハ主務大臣ノ命令ニ因リテ解散ス

主務大臣前項ノ命令ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ告示スベシ

第二章 業能別總帥會

第三十六條 業能別總帥會ハ國民經濟ノ活力ヲ増進ニ爲シ

シムル爲メ該金融事業ノ業能ノ一體的發達ヲ圖ルニ必要ナル指

導總則ヲ行ヒ且當該金融事業ニ關スル政策ヲ遂行ニ協力スルコ

トヲ目トス

第三十七條 業能別總帥會ハ金融事業ノ業能面ニ之ヲ設立ス

第三十八條 業能別總帥會ハ其ノ目的ヲ達スル爲メニ該金融事業

内、
閣

ヲ行フ

一 當該金融事業ヲ營ム者ノ行フ資金ノ吸收及運用ニ關スル指
導統制

二 當該金融事業ノ整備ノ促進

三 當該金融事業ノ機能ノ増進

四 當該金融事業ト産業トノ關係ノ緊密化ノ促進

五 當該金融事業ニ關スル調査及研究

六 前各號ニ掲グルモノノ外、當該金融事業ノ目的ヲ達スルニ必
要ナル事業

要ナル事業

第三十條 當該金融事業ノ執行タル各級ヲ有スル者ハ左ニ掲グ

ル者ニシテ主務大臣ノ指定スルモノトス

一 當該金融事業ヲ營ム者

二 當該金融事業ヲ營ム者ヲ以テ組織スル株式会社

第四十條 當該金融事業ニハ理事一人、監事及評議員

各若干人ヲ置クベシ

當該金融事業ニハ前項ノ役員ノ外、監督ノ定ムル所ニ依リ、顧問

長一人ヲ置クコトヲ得

第四十一條 理事長ハ命令ヲ以テ定ムル其會ヲ除クノ外、監督委員

ノ推薦シタルモノ中ヨリ主務大臣ノ之ヲ命ズ

前項ノ監督委員ハ當該金融事業ニ關シ經驗アル者及學識アル者

ノ中ヨリ主務大臣ヲ命ズ

内閣

副理事長、理事及評議員ハ當該全勸業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ理事長之ヲ命ズ

理事ハ命令ノ定ムル所ニ依リ評議員之ヲ選任ス

第三項ノ規定ニ依ル副理事長、理事又ハ評議員ノ任命ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケルニ非ザレバ其ノ効力ヲ生ゼズ

主務大臣第一項ノ規定ニ依ル任命又ハ前項ノ規定ニ依ル副理事長若ハ理事ノ任命ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ告示スベシ

第四十二條 理事長、副理事長及理事ノ任期ハ三年、理事及評議員ノ任期ハ二年トス

理事長必要アリト認ムルトキハ任期中ト遊モ副理事長又ハ理事ヲ解任スルコトナリ

前項ノ解任ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケルニ非ザレバ其ノ効力ヲ生ゼズ

主務大臣前項ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ告示スベシ

第四十三條 第十一條第一項、第二項及第四項乃至第六項ノ規定ハ理事長、副理事長、理事、理事及評議員ニ、第十四條ノ規定ハ理事長、副理事長及理事ニ之ヲ準用ス

第四十四條 業能別總知命ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ年月又ハ其ノ年月ヲ以テ總知命ノ組合員ニ對シ當該全勸業ニ關スル事項ノ調査ヲ爲ス爲必要ナル資料ノ提出ヲ求ムルコトナリ

第十六條第二項ノ規定ハ前項ノ組合ニ之ヲ準用ス

附
録

第四十五條 主務大臣ハ理事長、副理事長、理事又ハ評議員ノ行
爲方法令又ハ法令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキ、公益ヲ
害シタルトキ且ノ他懲罰能別統制會ノ事業ノ運営上理事長、
副理事長、理事又ハ評議員ヲ不適格ナリト認ムルトキハ之ヲ解
任スルコトヲ得

主務大臣ハ理事ノ行爲方法令若ハ法令ニ基キテ爲ス處分ニ違反
シタルトキ又ハ公益ヲ害シタルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得
主務大臣第一項ノ規定ニ依リ理事長、副理事長又ハ理事ヲ解任
シタルトキハ其ノ旨ヲ告示スベシ

第四十六條 第六條乃至第九條、第十五條、第十七條乃至第二十二條、
第二十七條乃至第三十三條及第三十五條ノ規定ハ懲罰統制會ニ之

ヲ準用ス

第四章 統制組合

第四十七條 統制組合ハ國民經濟ノ總力ヲ最も有效ニ發揮セシム
ル爲一定地區内ニ於ケル當該金融事業ノ機能ノ一體的發揮ヲ圖
ルニ必要ナル指導統制ヲ行ヒ且當該金融事業ニ關スル國策ノ遂
行ニ協力スルコトヲ目的トス

第四十八條 統制組合ハ一定地區ニ於テ金融事業ノ機能別ニ之ヲ
設立ス

前項ノ地區ハ主務大臣之ヲ指定ス

第四十九條 統制組合ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ニ掲グル事業ヲ行
フ

- 一 當該金融事業ヲ營ム者ガ當該地區内ニ於テ行フ資金ノ吸收及運用ニ關スル指導・統制
 - 二 當該地區内ニ於ケル當該金融事業ノ整備ノ促進
 - 三 當該地區内ニ於ケル當該金融事業ノ機能ノ増進
 - 四 當該地區内ニ於ケル當該金融事業ト産業トノ關係ノ緊密化ノ促進
 - 五 當該地區内ニ於ケル當該金融事業ニ關スル調査及研究
 - 六 前各號ニ掲グルモノノ外統制組合ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業
- 第五十條 統制組合ノ組合員タル資格ヲ有スル者ハ當該地區内ニ於テ當該金融事業ヲ營ム者ニシテ主任大臣ノ指定スルモノトス

- 第五十一條 統制組合ノ定款ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ
- 一 目的
 - 二 名稱
 - 三 地區
 - 四 事務所ノ所在地
 - 五 組合員ニ關スル規定
 - 六 事業及其ノ執行ニ關スル規定
 - 七 役員ニ關スル規定
 - 八 會議ニ關スル規定
 - 九 經理ニ關スル規定
- 第五十二條 統制組合ニハ理事一人以上理事、監事及評議員各

若干人ヲ置クベシ

理事長ハ當該金融事業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ
當該統制組合ノ所屬スル業態別統制會ノ理事長之ヲ命ズ當該統
制組合ノ所屬スル業態別統制會ヲキトキハ當該金融事業ニ關シ
經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ主務大臣之ヲ命ズ

前項前段ノ規定ニ依ル理事長ノ任命ハ主務大臣ノ認可ヲ受クル
ニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第十一條第一項第四項乃至第六項、第四十二條第一項乃至第三
項及第四十五條第一項第二項、規定ハ理事長、理事、監事及評
議員ニ、第四十一條第三項乃至第五項ノ規定ハ理事、監事及評
議員ニ之ヲ準用ス

第五十三條 業態別統制會ノ理事長ハ當該業態別統制會ノ役員タ

ル統制組合ノ理事長ノ行爲方法命令又ハ法令ニ基キテ爲ス行政官
職ノ處分ニ違反シタルトキ、公益ヲ害シタルトキ其ノ他當該統
制組合ノ事業ノ運営上當該理事長ヲ不適當ナリト認ムルトキハ
之ヲ解任スルコトヲ得

前項ノ解任ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生
ゼズ

第五十四條 統制組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ總會ニ代ルベキ總
代會ヲ設クルコトヲ得

第二十七條乃至第二十九條ノ規定ハ前項ノ總代會ニ之ヲ準用ス
第五十五條 第四條第二項ノ命令ヲ以テ定ムル統制組合ハ全國令

融統制會ノ行フ統制ニ從フベシ

第五十六條 統制組合ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ登記スベキ事項ハ登記ノ後ニ非ザレバ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第五十七條 第六條、第八條（定款ノ告示ニ關スル部分ヲ除ク）、第九條、第十五條、第十七條乃至第二十二條（第二十一條中定款變更ノ認可ノ告示ニ關スル部分ヲ除ク）、第二十七條乃至第三十三條、第三十五條第一項及第四十四條ノ規定ハ統制組合ニ之ヲ準用ス

第五章 地方金融協議會

第五十八條 地方金融協議會ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲一定地區内ニ於ケル金融事業間互間ノ連絡調整ヲ圖ルニ必要ナル指導統制ヲ行ヒ且金融事業ニ關スル國策ノ遂行ニ協力スルコトヲ目的トス

第五十九條 地方金融協議會ハ一定地區ニ於テ之ヲ設立ス

前項ノ地區ハ主務大臣之ヲ指定ス

第六十條 地方金融協議會ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ニ掲グル事業ヲ行フ

一 金融事業ヲ營ム者ガ當該地區内ニ於テ行フ資金ノ吸收及運用ニ關スル指導統制

二 當該地區内ニ於ケル金融事業ノ整備ノ促進

三 當該地區内ニ於ケル金融事業ノ機能ノ増進
四 前各號ニ掲グルモノノ外地方金融協同會ノ目的ヲ達スルニ
必要ナル事業

第六十一條 地方金融協同會ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲
グル者ニシテ主務大臣ノ指定スルモノトス

一 當該地區内ニ於テ金融事業ヲ營ム者

二 當該地區内ニ於テ金融事業ヲ營ム者ヲ以テ組織スル總・支組

合

第六十二條 地方金融協同會ニハ理事一人、監事一人、庶務
職員各若干人ヲ置クベシ

理事ハ金融事業ニ關シ經驗アル者及與該會ノ中ヨリ主務

大臣之ヲ命ズ

第六十一條第一項第四項乃至第六項、第四十二條第一項乃至第三
項及第四十五條第一項第二項ノ規定ハ理事、監事、庶務及評
議員ニ、第四十一條第三項乃至第五項ノ規定ハ理事、監事及評
議員ニ之ヲ準用ス

第六十三條 地方金融協同會ニハ定款ノ定ムル所ニ依リ顧問若干
人ヲ置クコトヲ得

第六十四條 第六條、第八條（定款ノ告示ニ關スル部分ヲ除ク）、
第九條、第十五條、第十七條乃至第二十二條（第二十一條中定
款變更ノ認可ノ告示ニ關スル部分ヲ除ク）、第二十七條乃至第
三十三條、第三十五條第一項、第四十四條、第五十一條及第五

十四條乃至第五十六條ノ規定ハ地方金融協議會ニテ之ヲ准用ス

第六章 雜則

第六十五條 主務大臣必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ第四章又ハ第五章ニ規定スル職權ノ一部ヲ地方長官ヲシテ行ハシムルコトヲ得

第六十六條 本令中主務大臣トアルハ第二項ニ規定スル場合ヲ除クノ外大藏大臣トス但シ産業組合中央金庫、信用組合聯合會（樺太ニ於テ設立セラレタリモノヲ除ク以下同ジ）又ハ信田組合（臺灣又ハ樺太ニ於テ設立セラレタルモノヲ除ク以下同ジ）ヲ會員又ハ組合員トスル業能訓練會、社訓組合又ハ地方金融協議會ニ在リテハ大藏大臣及農林大臣トス

第二條及第五章中主務大臣トアルハ朝鮮、臺灣又ハ樺太ヲ地區トスル地方金融協議會ニ在リテハ各朝鮮總督、臺灣總督又ハ樺太總督トス

第十九條（第四十六條、第五十七條及第六十四條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）中市町村トアルハ朝鮮ニ在リテハ府邑面、臺灣ニ在リテハ市街中トシ市町村稅トアルハ朝鮮ニ在リテハ國稅、臺灣ニ在リテハ市街中稅トシ百分ノ四トアルハ朝鮮ニ在リテハ百分ノ五トス

第六十七條 大藏大臣全國金融總督會ニ付左ニ掲グル處分ヲ爲サントスル申合ニ於テ該處分ヲ因給金庫ニ關スルモノナルトキハ内閣總理大臣、産業組合中央會館、信田組合聯合會又ハ信田

組合ヲ會員又ハ組合員トスル幸能別統制會、統制組合又ハ地方
金融協議會ニ關スルモノナルトキハ農林大臣、商工組合中央全
府ニ關スルモノナルトキハ商工大臣、朝鮮殖産銀行ニ關スルモ
ノナルトキハ朝鮮總督ニ協議スベシ

一 第五條ノ規定ニ依ル所定

二 第六條第一項、第二十三條第一項、第二十四條第一項、第

二十六條第一項、第三十二條及第三十五條第一項ノ規定ニ依

ル命令

三 第六條第二項、第二十一條第一項、第二十三條第一項、第

二十四條第一項及第二十六條第一項ノ規定ニ依ル認可

四 第三十三條第二項ノ規定ニ依ル命令又ハ處分

朝鮮總督朝鮮半島區トスル地方金融協議會ニ付左ニ掲グル處分
ヲ爲シントスル場合ニ於テ該處分方朝鮮銀行又ハ朝鮮ニ於テ
金融事業ヲ營ム者ニシテ内地ニ主タル營業所若ハ事務所ヲ有ス
ルモノノ朝鮮ニ於ケル營業所若ハ事務所ニ於ケル金融事業ニ關
スルモノナルトキハ大藏大臣ニ協議スベシ
朝鮮總督又ハ樞密院大臣ニ協議スベシ
長官事務及ハ樞密院大臣ニ協議スベシ
處分ヲ爲サントスル場合ニ於テ該處分方事務若ハ樞密院大臣ニ營業
所ヲ有スル銀行又ハ事務若ハ樞密院大臣ニ於テ金融事業ヲ營ム者ニシ
テ内地ニ主タル營業所若ハ事務所ヲ有スルモノノ事務若ハ樞密院
大臣ニ於ケル金融事業所若ハ事務所ニ於ケル金融事業ニ關スルモノナル

トキ亦同ジ

一 第六十一條ノ規定ニ依ル指定

二 第六十四條ニ於テ准用スル第六條第一項、第三十二條及第

三十五條第一項ノ規定ニ依ル命令

三 第六十四條ニ於テ准用スル第六條第二項及第二十一條第一

項ノ規定ニ依ル認可

四 第六十四條ニ於テ准用スル第三十三條第一項ノ規定ニ依ル

命令又ハ處分

第六十八條・第三章及第四章ノ規定ハ朝鮮、臺灣及樺太ニ在リテ

ハ之ヲ適用セズ但シ臺灣又ハ樺太ニ營業所ヲ有スル銀行ノ營業

營業所ニ於ケル金融事業ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第六十五條ノ規定ハ朝鮮、臺灣及樺太ニ在リテハ之ヲ適用セズ

第六十九條 本令ニ規定スルモノヲ除クノ外全國金融統制會、業

態別統制會、統制組合及地方金融協進會ニ關シ必要ナル事項ハ

命令ヲ以テ之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ地方金融協進會ニ關スル規定

ハ朝鮮、臺灣及樺太ニ在リテハ昭和十七年六月一日ヨリ之ヲ施行

ス